

別紙2

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第5章第12の1の(1)イ(イ)②及び(2)イに基づき、インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究について当院ホームページへの掲載により公開する情報

1. 研究機関の名称 : 呉共済病院
研究責任者の氏名 : 高田綾香

2. 研究の概要

①研究の名称

A病院の骨粗鬆症による脆弱性骨折患者の実態調査
～骨折の連鎖について現状分析～

②研究の目的

骨粗鬆症による脆弱性骨折を発症した患者に、その後の骨折の連鎖のリスクを低減するために整形外科外来看護師の介入は重要といえる。脆弱性骨折のデータ収集・骨折の連鎖を発症した患者背景を把握し、現状の実態調査を行う。過去3年間のデータをもとに、骨粗鬆症による骨折の連鎖の予防に向けて、整形外科外来看護師の看護介入の糸口を見出す。

③研究の方法

研究方法:最初に骨粗鬆症による脆弱性骨折を来した患者の部位別に、年齢と性別を区分する。そのデータをもとにして、次に骨折の連鎖を来した患者について以下の8項目をデータ収集する。

- ① 骨粗鬆症の検査の有無 (骨代謝マーカー・骨塩定量検査)
- ② 骨粗鬆症の治療の有無
- ③ 既往歴 (続発性骨粗鬆症: 内分泌性・栄養性・薬物・不動性・先天性・生活習慣病)
- ④ 受傷場所 (屋内 or 屋外)
- ⑤ 障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり) を用いた判定
- ⑥ 認知症高齢者の日常生活自立度判定表を用いた判定
- ⑦ 退院後の生活場所 (自宅、施設、病院)
- ⑧ 術後の整形外科受診状況

研究デザイン: 量的研究 推測統計

④研究の実施体制

研究者	: 高田綾香	研究計画書	データ収集	データ分析	論文執筆
研究分担者	: 沖本由衣	データ収集	データ分析		
	: 山下和子副師長	データ分析	執筆指導		
	: 重田奈美師長	データ分析	執筆指導		

- 2022. 6月末までに研究計画書
- 2022. 9月までにデータ収集（カテゴリーに振り分け、一覧作り）
- 2022. 11月までにデータ分析
- 2022. 12月までに論文作成
- 2023. 1月スライド作成
- 2023. 2月発表

⑤研究対象者の選定方針

研究対象：2019年4月～2022年3月の期間に、椎体骨折・大腿骨近位部骨折・橈骨遠位端骨折・上腕骨近位端骨折の診断で整形外科外来を受診した患者の中で、その後更に骨粗鬆症による脆弱性骨折を発症した患者を対象とする。交通外傷による骨折は、対象から除外する。

3. 研究に関する資料の入手又は閲覧について

研究計画書及び研究の方法に関する資料は入手又は閲覧することができます。ただし、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。入手・閲覧の方法は、末尾記載の窓口にお問い合わせ下さい。

4. 個人情報の開示等について

個人情報の開示等については、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）」に従い、適正に行います。開示等のお求めは、末尾記載の窓口にお問い合わせ下さい。

5. お問い合わせ・ご相談・苦情等の窓口

(1) 研究について

研究責任者： 高田 綾香
(電話) 0823-22-2111 (代表)

(2) 個人情報の開示等について

呉共済病院 事務部 総務課 (電話) 0823-22-2111 (代表)
個人情報管理責任者：高田 綾香